

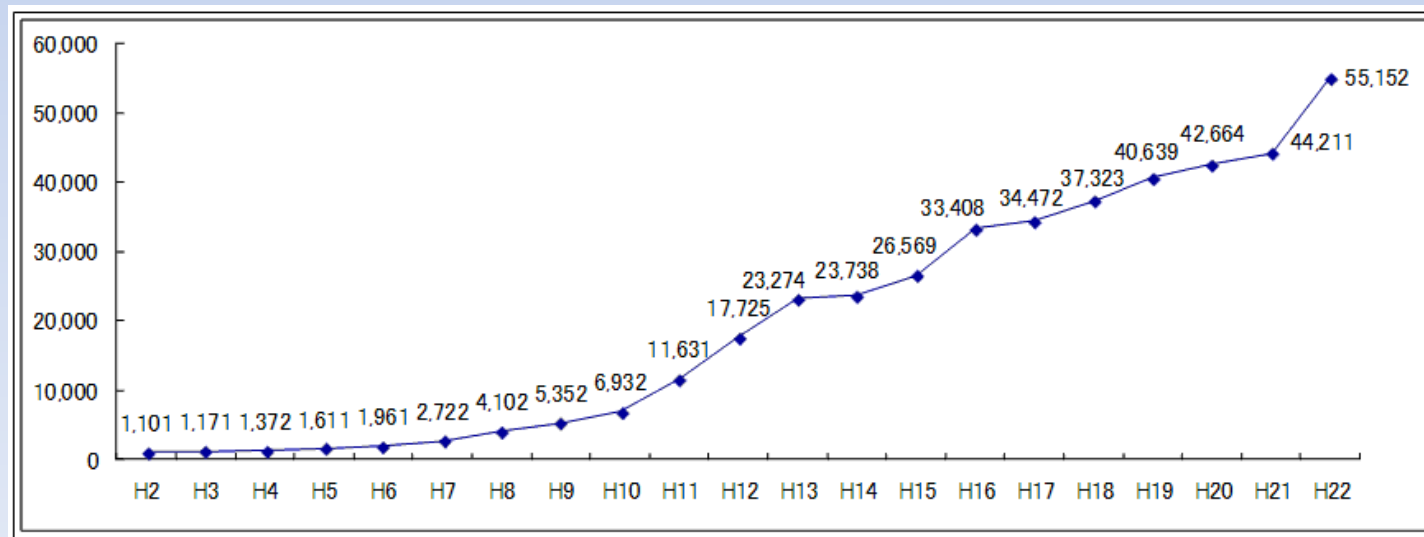
市民提案型協働事業

子育て支援方策の拡大・深化 — 家庭訪問型支援(ホームスタート)の導入 —

NPO法人さやま保育サポートの会
2014・05・23

申請の理由

- 多様な子育て支援が展開されている今日においても、子育ての不安定な家庭や困難家庭が増加している。このような状況から児童虐待が発生する。要保護児童地域協議会（代表者会議2014・05・17）においても、所沢児童相談所における児童虐待相談件数は増加傾向にある（H22年度：2,243件→H25年度2,571件）。児童虐待を予防するために、子育て困難家庭の支援をしたい。



家庭訪問型支援(ホームスタート)の導入

- **ヴィジョン**:「全ての親が子どもによりよき人生のスタートを提供できるよう、そのために必要な支援を得ることができる社会」の実現をホームスタート・ジャパンは目指しています。
- **ミッション**: 家庭訪問型子育て支援であるホームスタート活動の促進を通して、小さな子どもと共にいる親に必要なサポート・フレンドシップ・その他の役立つ支援を提供し、全ての子どもが可能な限り最良の人生のスタートを切れるように、地域コミュニティでの子どもと家庭の福祉の向上に寄与すること
- **特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン**(2009年12月1日設立)
 - * 事務局所在地: 〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 2F
TEL:03-5287-5771 FAX:03-5287-5770
 - * 代表理事: 西郷泰之(大正大学社会福祉学教授)
 - * http://www.homestartjapan.org/modules/about/index.php?content_id=6

こども課援護担当支援との違い

こども課管轄の支援体制

情報交換児童 (H25年度57名)



所属内協議



個別ケース会議



要支援児童

<個別支援計画>

保健師・看護師
保育士等訪問

HSの訪問事業体制

オーガナイザー養成



ホームビジター養成

家庭からの
申し出

運営委員会等
情報の収集



オーガナイザーのアセス



ホームビジターの訪問支援

傾聴・
協働

事業内容とその展開

☆ オーガナイザー養成

* 6月13・14・15日

東京研修

☆ ホームビジター養成

* 10月～11月

8日間40時間研修

☆ 運営委員会の創設

* 10月～11月

☆ ホームスタート試行訪問

* 12月～H27年3月

HS事業の展望

☆スタッフ養成の輪の広がり

* 市民大学

↓
パパママお助け隊

↓
養成学科

* ホームビジター

↓
養成講座

☆ 実践の場の広がり

* さやま子育て支援

↑
ネットワーク

(子育てひろば・サークル)

↑
* 保育室・家庭保育・
ファミリーサポート事業

←
**いらっしゃい型から
コンニチワ型支援の
展開**

子育てを楽しくし、児童虐待を防止

☆児童児童虐待・その疑いで、
児童相談所に通告される事例
67,000件(2012)

☆死亡する子ども120人
うち約半数は**親子心中**。
心中以外の虐待死の多く
は乳幼児、特に**0歳児が多い**

☆加害の動機
3歳以上:しつけ
3歳未満:**子どもの存在が受け入れられない・泣き止まない**

☆**子育ての当事者**によるサポート(**素人性**)
(無償ボランティア)



☆母親の心情を共感的に受け止める(**傾聴**)
☆家事・子育て・外出・買い物につき合い、母親の負担感を減らす。しかし専門家のようにほしくない。(協働)
☆寄り添いによって、母親が子育ての楽しさを体得する。→ **母親の再生**